

SABO NEWS LETTER

第 152 号【発行日】令和 4（2022）年 6 月 6 日(月)【発行】(一社)全国治水砂防協会

目 次

1. 目 次 1
2. 国土交通省砂防部長よりご挨拶 2
3. (一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶 3
4. 国土交通省砂防部提供資料 4

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長よりご挨拶

6月は土砂災害防止月間です。全国的に本格的な梅雨期に入り、土砂災害も増えるこの時期に、土砂災害に対するあらかじめの備えを強化するために、国土交通省や都道府県の砂防部局が中心となり、市町村のみなさんと連携して様々な運動・活動を行っていきます。具体的には、土砂災害のおそれのある危険箇所の点検、住民参加型の防災訓練、防災講演会やパネル展などの啓発活動といった各地域で工夫を凝らした取り組みが行われます。月間ポスター（添付資料）をご覧ください。“声をかけあい早めの避難”“土砂災害 迷わず避難”小中学生のみなさんが描いた絵画に、いざという時に取るべき行動が端的に示されています。住民のみなさんには、身の周りの危険箇所を知っていただき、いざという時の自らのとるべき行動をあらかじめ考えていただくこと、行政サイドは住民のみなさんに理解いただけるようにわかりやすい情報提供を進めることが重要です。「実効性ある避難」は住民のみなさんと行政サイドの協働作業で結実します。

昨年、災害対策基本法と土砂災害防止法が改正され、従来までの避難勧告・避難指示が避難指示に一本化され、土砂災害警戒情報が発表された場合には、市町村は避難指示を発令することを基本にするという運用に変わっています。会員のみなさまにおかれましては、今一度、土砂災害のおそれのあるような大雨時の対応について、現時点でのチェックをお願いしたいと思います。

また、土砂災害への備えのうちハード対策としては、保全効果の大きい砂防関係施設を1基でも多く1年でも早く完成させることで、確実に「いのち」と「くらし」を守っていきたいと考えます。国土交通省と都道府県の砂防部局では「防災・減災国土強靱化のための5か年加速化計画」予算も活用して砂防関係事業の推進に努めています。添付資料にある岐阜県多治見市の砂防施設は、加速化予算を活用して、既設堰堤に新たに流木捕捉機能が付加され今春完工したものです。施設機能の最大化に向けた施策展開にも努めているところです。

会員のみなさまにおかれましては、ソフト・ハード両面からの事前防災対策に引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶

会員の皆様へ

向暑の候、皆様におかれましては益々ご清栄にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、5月26日に開催いたしました当協会第86回通常総会には多くの皆様にお集まりいただき、無事に総会を執り行うことができました。ありがとうございました。森山会長のもとでの初めての総会であり、全国から会員が集う対面形式で開催するのは3年ぶりのことです。加藤鮎子国土交通大臣政務官、木村次郎国土交通大臣政務官をはじめ国土交通省幹部の来賓の皆様、さらに116名もの国会議員の先生方にご臨席をいただき、会員各位のご協力のもと、滞りなく総会を終了いたしました。この場を借りまして心から御礼を申し上げます。また、総会終了後には功労者表彰を行いました。表彰を受けになった皆様、誠におめでとうございました。

6月は土砂災害防止月間です。この土砂災害防止月間は40年前の1982年7月23日に発生した長崎大水害を契機に設けられた行事です。長崎市周辺を襲った集中豪雨のため299人が亡くなるという歴史的な大災害で、被害者の多くが土砂災害による死者でした。長与町で記録した時間雨量187mmは、温暖化が進む今日でもまだ破られていない過去最大の時間雨量です。災害の翌年、入省3年目だった私は新設された長崎県の砂防室へ出向し、土砂災害からの復旧に携わりました。その年、第一回土砂災害防止全国の集いが鎮魂の地である長崎市の浦上でしめやかに開催されたことが思い出されます。今年の全国の集いは和歌山県田辺市で開催されました。深層崩壊が多発した紀伊半島大水害から今年で11年目に当たります。

過去を振り返ると、人命を奪う土砂災害は大小を問わず繰り返し発生しています。事前防災としての砂防関係事業を計画的に実施し、警戒避難体制を強化し、避難のためのスキルを磨き、避難する心構えを持っていただく、そして避難行動をとる。このような関係者総力を挙げての地道な努力なくして災害から生命を守ることはできません。土砂災害防止月間に際して今一度、土砂災害防止の決意を皆で固めたいものです。

これからの梅雨時期、災害が起こらないよう祈念申し上げます。
また、時節柄どうかご自愛くださいますように。

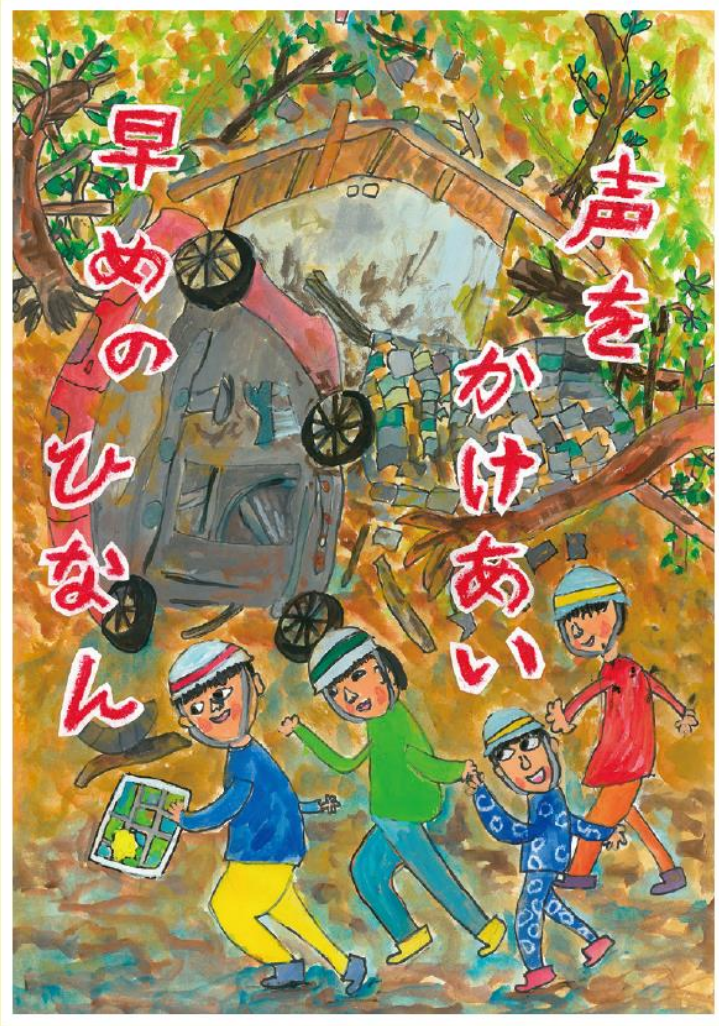
令和4年6月6日

一般社団法人 全国治水砂防協会
理事長 大野 宏之



最優秀賞(国土交通大臣賞)

鹿児島県中種子町立油久小学校3年
東園晃太郎さん



最優秀賞(国土交通大臣賞)

愛知県刈谷市立依佐美中学校3年
江坂実秋さん



令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品
土砂災害の怖さがいろいろな形で表現されています。



土砂災害から身を守る3つのポイント
あなたも危険な場所にお住まいかも

砂防施設が
住宅地を守る!



主催 国土交通省・都道府県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間

がけ崩れ防災週間 6/1→7

6/1→30



新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した防災訓練の実施事例

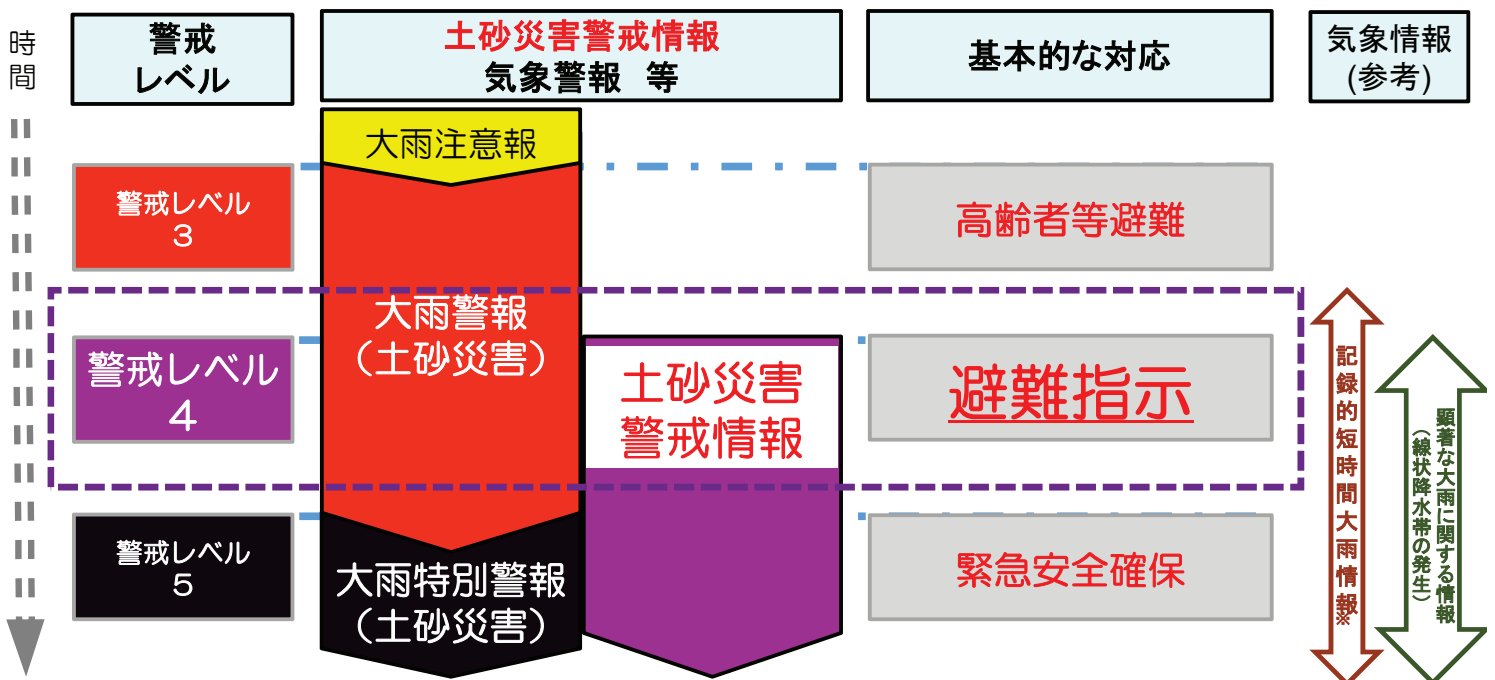
【静岡県御殿場市(令和3年6月実施)】

- コロナ禍を踏まえ、新型コロナ感染症対策を考慮した土砂災害防止訓練実施の取組
- 自主防災組織により以下の土砂災害防止活動の実施。
 - ① 指揮本部: 避難所開設・受入準備・運営訓練
 - ② 巡回広報: 避難を促す広報や危険箇所の巡回
 - ③ 避難誘導: 要配慮者の避難支援
- 訓練実施により、地域防災力及び個々の意識向上が図られたほか、感染症対策に配慮した避難所運営には、資機材に加え十分な空間が必要であるなどの課題が明確になった。



土砂災害に関する情報とその対応について

令和3年5月の災対法、土砂災害防止法の改正により、**避難勧告・避難指示は避難指示に一本化**。
土砂災害警戒情報(レベル4)が発表された場合は、**市町村長は躊躇することなく避難指示を発令**する。
都道府県は、市町村長が躊躇することなく発令できるよう、**ホットライン等で助言を実施**。



※記録的短時間大雨情報: 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析した場合に発表。大雨警報発表中に、キキクル(危険度分布)に「非常に危険(うす紫)」が出現している場合に発表。

中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

庄内川水系直轄砂防事業（市之倉第3砂防堰堤改築）

 ぎふ たじみし
 岐阜県多治見市

1. 概要

・近年の流木災害を踏まえた土砂災害防止のため、既設の砂防堰堤に流木捕捉機能を付加した改築工事を行い、R4年3月に完成した。

2. 施設諸元

不透過型（既設、S56年完成）

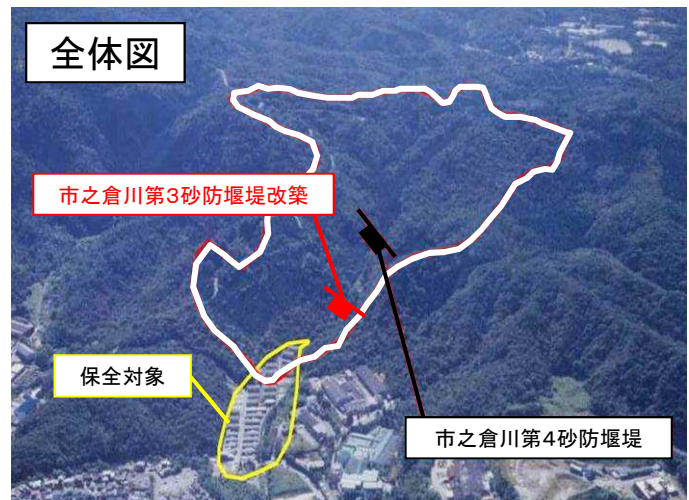


部分透過型（流木捕捉工を付加）

事業期間：令和2年4月～令和4年3月

堤高：12.0m、堰堤長：53.0m、天端幅：3.5m

保全対象：人家、公民館、避難路等



（令和4年3月完成）